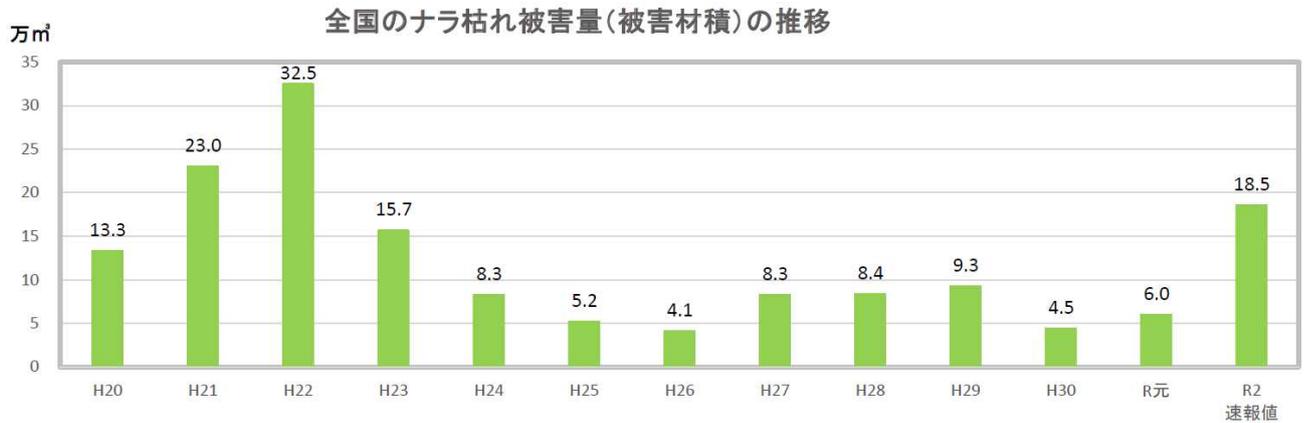


4 参考資料

(1) 全国の被害状況

令和2年度は、42都府県で被害が発生し、全国のナラ枯れ被害量は、令和元年度より約12.5万 m^3 増の約18.5万 m^3 となっている。

また、新たに3県で被害が確認されるとともに多くの都府県で被害が拡大傾向にある。



出典：「令和2年度森林病虫害被害量(速報値)」について(令和3年1月15日林野庁プレスリリース資料)

図4 全国のナラ枯れ被害量(被害材積)の推移

表9 都道府県別被害量（平成27～令和2年度）

（単位：千㎡）

年度 区分	H27	H28	H29	H30	R元	R2 速報値	対前年度比
北海道	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	0.1	1.2	1.5	9.6	19.8	205%
岩手県	2.0	5.3	8.8	3.4	4.5	7.0	155%
宮城県	3.9	2.5	6.6	3.4	3.1	3.3	107%
秋田県	10.4	15.9	13.1	5.6	9.0	22.7	252%
山形県	2.4	5.1	4.5	0.9	1.5	2.3	157%
福島県	3.5	3.9	6.9	4.2	5.8	21.1	363%
茨城県	-	-	-	-	-	0.1	皆増
栃木県	-	-	-	-	-	0.0	皆増
群馬県	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.8	316%
埼玉県	-	-	-	-	0.0	0.8	3164%
千葉県	-	-	0.1	0.2	0.7	9.0	1343%
東京都	-	-	-	-	0.0	1.1	21620%
神奈川県	-	-	0.2	1.0	1.3	11.9	950%
新潟県	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	1.5	467%
富山県	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
石川県	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	450%
福井県	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	2.8	2880%
山梨県	-	-	-	-	0.0	3.6	9208%
長野県	0.8	0.2	0.2	0.3	0.3	3.7	1349%
岐阜県	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	1909%
静岡県	1.6	0.9	0.8	0.4	2.9	9.9	342%
愛知県	3.4	1.2	0.7	0.4	0.2	0.2	86%
三重県	0.7	1.0	1.9	0.9	0.3	0.4	159%
滋賀県	0.8	0.3	0.1	0.2	0.2	0.6	329%
京都府	2.4	2.3	1.1	0.4	0.3	0.6	213%
大阪府	12.4	5.7	3.2	2.1	0.4	1.1	304%
兵庫県	2.8	4.8	9.4	5.8	3.3	5.1	153%
奈良県	3.4	17.9	18.6	5.0	3.2	3.0	94%
和歌山県	0.4	0.2	0.4	0.4	0.2	1.7	749%
鳥取県	12.9	7.6	10.3	4.6	7.1	11.9	168%
島根県	1.3	0.8	1.0	0.5	0.4	1.6	364%
岡山県	0.5	0.8	1.4	1.7	4.2	29.5	707%
広島県	0.4	1.0	1.0	0.8	0.7	1.6	249%
山口県	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	304%
徳島県	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.8	324%
香川県	-	-	-	-	0.2	0.9	601%
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-
高知県	0.0	0.0	-	-	0.0	0.2	549%
福岡県	-	-	-	-	0.0	0.2	1420%
佐賀県	-	-	-	-	0.0	0.0	219%
長崎県	-	0.2	0.2	0.1	-	1.0	皆増
熊本県	-	-	-	-	0.0	2.7	26690%
大分県	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	5.0	1.0	0.3	0.1	0.0	0.0	676%
鹿児島県	11.0	4.3	0.5	0.3	0.1	0.2	321%
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	82.8	83.6	93.1	44.7	60.5	185.5	307%

注1 民有林については、都道府県からの報告による。

注2 国有林（官行造林地を含む。）については、森林管理局からの報告による。

注3 都道府県ごとに小数点以下第二位を四捨五入した。

注4 四捨五入により合計と一致しない場合がある。

注5 被害の発生していないものを「-」、50㎡未満の被害が発生しているものを「0.0」としている。

出典：「令和2年度森林病虫害被害量（速報値）」について（令和3年1月15日林野庁プレスリリース資料）

令和2年度の青森県内国有林における松くい虫被害の確認状況について

1 被害木調査

(1) 地上からの巡視による調査

津軽森林管理署職員が地上からの巡視による松くい虫被害木調査を行いました。令和2年度は松くい虫被害は確認されていません。引き続き、調査を実施していきます。

(2) ヤニ打ち調査

令和2年度は風合瀬地区において434本、広戸地区において418本のアカマツについてヤニ打ち調査を実施しました。

調査の結果、ヤニが流れなかった異常木を風合瀬地区において2本発見しました。国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所東北支所において鑑定を行いました。松くい虫被害の原因であるマツノザイセンチュウは検出されませんでした。

【青森県内国有林の松くい虫被害】

(単位：本)

市町村	H28 シーズン	H29 シーズン	H30 シーズン	R1 シーズン	R2 シーズン	計
深浦町	2	1	0	0	0	3

シーズン(7月1日～翌年6月30日)

2 今後の対応

(1) 被害木等の処理

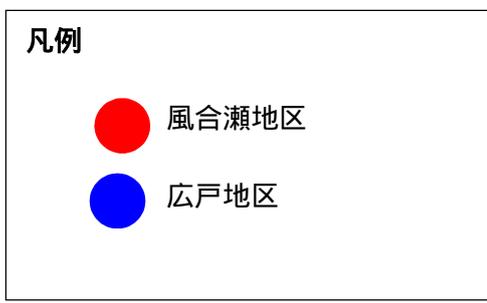
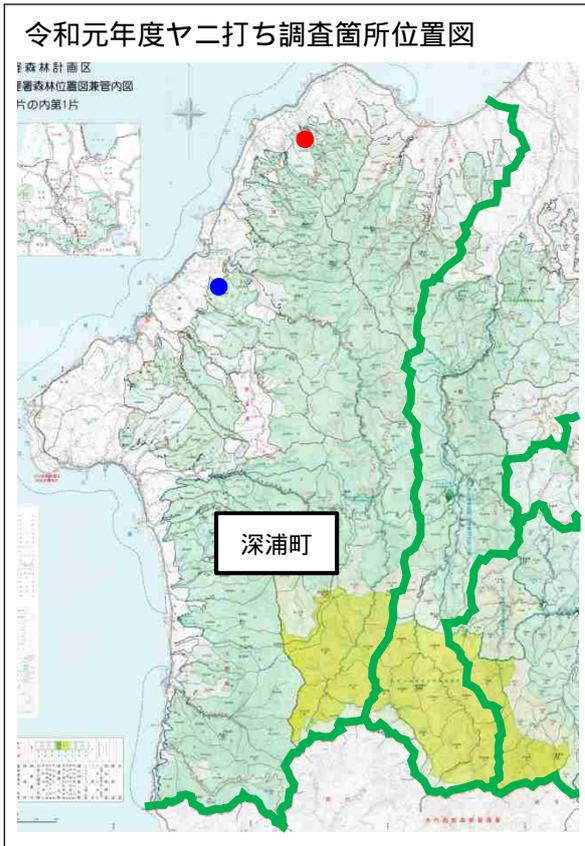
今回、ヤニ打ち調査で発見した異常木2本(アカマツ)は津軽森林管理署において令和3年6月中旬までに伐倒くん蒸による駆除を実施する予定です。

今後も引き続き、被害木の早期発見と処理に努め、被害の拡大防止を図ります。

(2) 監視等

職員による地上からの巡視に加え、ドローンを活用した調査及びヤニ打ち調査を実施します。

また、県及び管内市町村と被害情報及び駆除方針を共有するなど、周辺地域での被害木の早期発見に向け、連携して被害対策に取り組めます。



ナラ枯れ被害対策の概要

令和2年度 ナラ枯れ被害位置図

【ナラ枯れ被害の概況】

青森県のナラ枯れ被害は、平成22年度に深浦町大間越で初確認後、一旦終息

平成28年度に深浦町で再確認されて以降、被害は拡大傾向

令和2年シーズンには新たに五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、中泊町、弘前市及び西目屋村において被害が発生

【ナラ枯れ被害対策】

監視対策

被害を早期にかつ的確に把握するための取組を継続。

- ・ナラ枯れ調査強化月間(9月)の設定
- ・地上監視及び上空監視、カシナガ生息調査

駆除対策

被害状況や環境条件等に応じた適切な対策を実施

被害木は、伐倒くん蒸の後、薪材として有効活用

予防対策

未利用広葉樹の伐採利用を推進し被害を受けにくい森づくりを目指す

【津軽森林管理署管内の被害状況】

被害シーズン	被害本数
H28	62
H29	1,677
H30	1,108
R1	5,469
R2	14,219

(R2シーズンは令和2年10月末時点)

【被害状況や環境条件等に応じた駆除対策】

被害発生初期(被害木10本/ha未満)及び十二湖周辺

伐倒くん蒸もしくは立木くん蒸処理を実施

伐倒くん蒸(十二湖地区)



山 津軽森林管理署

【おとり丸太法による誘因捕殺】

伐倒玉切りした健全木を合成フェロモンとともに集積。カシノナガキクイムシを大量に誘因した後、破碎・焼却等により殺虫。未被害地では、カシノナガキクイムシを呼び寄せるため行わない。

おとり丸太(十二湖地区)



被害発生中期以降エリア

被害発生初期エリア

凡例	
▲	既存被害箇所
●	新規被害箇所

【被害状況や環境条件等に応じた駆除対策】

被害発生中期以降(被害木10本/ha以上)

被害が面的に広がっているため、単木的な処理は実施せず、おとり丸太法による誘因捕殺を実施